

農園部会だより
夏野菜の手入れ、
どんぐりの苗植え付け他



6月29日（土）9時30分から里山農園にて

梅雨という表現のとおり、雨や曇りの多い一週間でした。前日の金曜日も雨だったため、里山農園はぬかるんでいるところが多くありました。

森島副理事長による作業予定と注意事項にはじまり6名で作業を行いました。ナスは成長して実を付け重くなってきましたので、支柱と支柱の間を通した横方向の支柱に誘引を行いました。また、雑草防止のためにじゃがいも栽培で使ったマルチや雑草防止用の袋を周囲に広げました。また、1号地のピーマンや万願寺には追肥をしました。植物の大好きな水分が多いこともあり、野菜の周りや農園には多くの草が伸びてきていますので、出来る範囲で草刈りも行いました。ど

んぐりの苗も植え付けました。多様な樹木・植物で豊かな里山農園になってくれると信じています。里山農園には半夏生の花が見頃になっています。季節の植物や野菜、昆虫などの生き物がたくさん棲息する里山農園です。会員が気持ちを込めて育てた野菜たち。ご入用の方は森島副理事長や農園で活動されている方々にご連絡ください。



どんぐりの木の植樹



なすの手取り

●5月18日にニホンミツバチとシロメダカの観察会においでになった皆さま。



持ち帰っていただいたシロメダカの生育状況はいかがでしょう。いよいよ気温が高くなってくる頃です。水の入替もスムーズに行われているでしょうか。飼育記録を残してほしいとお願いいたしましたが、続けられているでしょうか。その後の状況をお知らせいただければ有難いです。里山の会へのお便りをお待ちしております。



●昆虫観察会は7月6日（土）10時に里山農園集合で、桜谷保之先生が来られて開催いたします。

参加される方は里山の会まで申し込んで下さい。午前中約2時間のプログラムになっています。参加費は無料で、小学生以下は保護者同伴が原則必須です。熱中症対策をお願いします。水分はしっかりご持参下さい。帽子を忘れず、長袖・長ズボンの服装をお願いします。捕虫網も弁当も必要かも……。氏名、住所、年齢学年、電話番号を書いて fddb257@yahoo.co.jp まで申し込んでください。

●7月11日（木）15:00～17:30に第1回魚部会を里山の会事務所で開催

魚に関心のある方はご参加をお願いします。今年からイベントなどの取組についてはサークルなどを中心にて運営してゆくことで一層充実した内容へ高めながら、役員の過重負担の軽減と得意を生かそうとした目的で進める事を第30回総会で決定確認しました。積極的なご参加をお願いします。9月8日と10月6日に魚とりや第2回魚釣りを計画しています。



●舞鶴市の黒田悠三さん（前舞鶴市レンガ博物館館長）から連絡が来ましたので紹介いたします。

第11回昆虫展が開かれます。昆虫マニアがこれだけ世界中のものを収集したものだと思う素晴らしい展示会です。是非ご参加ください。去年は安岡俊爾様と山村が参加しました。

よくもこれだけ収集されたもので、とても感心しました。
こうした展示会が継続されて開催されることをもっと多く
の方々に広げたいものです。

※写真は昨年訪ねた時のものです



●3度アライグマが捕獲されました。

6月の初めに檻を設置した時には京田辺市農政課からの指導に従って餌にキャラメルコーンを使いましたが檻の中の物まで上手にすべて食べつくされて、檻がはたらきませんでした。そこで知恵比べとなってバナナを加えると13日に1匹目が捕獲出来ました。15日に2匹目、7月2日に3匹目が捕獲されました。いずれも藁で目立たないようにカモフラージュして物が檻の中に引っ張りこまれていました。

●同志社大学サッカー部、関西学生サッカー選手権で優勝 おめでとうございます

6月30日に関西学生サッカーの決勝が同志社と京都産大の間で行われ、NHKのEテレでも中継されていました。去年の草集めに来てくれていた同大サッカー部の何人か（本田キャプテン、羽田野ゴールキーパー、廣島くん、馬場くん、前田くん、それぞれ大活躍でした）が出場していました。結果は2対1で同志社の優勝！今度は全日本学生サッカー選手権でも活躍してくれると思います。試合終了後の本田キャプテンのインタビュー、受け答えがしっかりしていてカッコよかったです。

●桜谷保之先生からヤマトサンショウウオの調査報告書(目次案)が届きました。

里山の会の発足当時は植物散策が中心の活動でした。京田辺市の普賢寺谷(普賢寺川沿い)を調べて歩きました。そのうちに里山の会だから炭焼き体験に参加したいとの要望で打田薪炭組合所有の炭窯を見つけ、生産活動に参加させてもらっているうちに、オオムラサキの飛翔があるとの話が出て山中のエノキやコナラを見つけて山中を歩きました。数年後にオオムラサキの生育環境があるだろう、そしてきっとカスミサンショウウオの生息も確認できるだろうと、40年前までは田圃として利用されていた場所(廃棄田)を折れた枯れ竹などを踏み分けて水の流れを訪ねると田圃の跡地が沼状に残っていてそこに浅いタマリがありオタマジャクシの卵でバナナのような塊を発見しました。それがカスミサンショウウオの卵囊で3対ありました。2007年3月18日。これがやましろ里山の会が京田辺市で初めて発見した出来事でした。新聞社が里山の会の成果として報道していただきました。

第10回 加佐公民館昆虫展
入場無料
郷土・日本・世界の昆虫展
日時: 2024年7月13日(土)~15日(月祝)
9:00~17:00(15日は16:00まで) 会場: 舞鶴市加佐公民館(2階ホール)
特別企画
京都府北部の昆虫コレクターとコレクションガイド
~未来に残したい自然史資料~
展示内容
世界の昆虫: 海外のチョウ、ガ、カブト、クワガタ等
日本の昆虫: 日本のチョウ、ガ、トンボ、セミ等
郷土の昆虫: 京都府北部のコウチュウ、カメムシ、ハチ、アブ等
特別企画展示: 京都府北部の昆虫コレクターの紹介と標本の一部を展示
昆虫なんでも相談: 昆虫標本の作り方、保存の仕方など
主催: 舞鶴市加佐公民館(舞鶴市志高1005番地 TEL0773-83-0036)
後援: 京都府、きょうと生物多様性センター
協力: 加佐公民館昆虫展実行委員会(丹後・丹波の会、人と自然の共生ネット、若狭湾生物同好会他)
生虫コーナー
生きたカブト・クワガタなどを触ったり、観察したりする



桜谷先生と発見したメンバー



発見した当時のカスミサンショウウオの卵囊